

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成29年9月7日(2017.9.7)

【公開番号】特開2016-70326(P2016-70326A)

【公開日】平成28年5月9日(2016.5.9)

【年通号数】公開・登録公報2016-027

【出願番号】特願2014-198568(P2014-198568)

【国際特許分類】

**F 1 6 K 1/32 (2006.01)**

**F 1 6 K 1/02 (2006.01)**

**F 1 6 K 1/00 (2006.01)**

**F 1 6 K 27/02 (2006.01)**

【F I】

F 1 6 K 1/32 Z

F 1 6 K 1/02 A

F 1 6 K 1/00 N

F 1 6 K 27/02

【手続補正書】

【提出日】平成29年7月27日(2017.7.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

曲り流路（24）を形成する曲り部（11d）と、

前記曲り流路から X 方向に延びる入口流路（21）を形成する入口部（11a）と、

前記曲り流路から前記 X 方向と交差する Y 方向に延びる出口流路（22）を形成する出口部（11b）と、

その先端（12a）が前記曲り部とともに前記曲り流路を形成することで前記入口流路から前記曲り流路を介して前記出口流路へと至る流体の流れを許可する開状態と、前記 Y 方向に移動することで前記流体の流れを遮断する閉状態と、に切り替わる弁体（12）と、

前記入口流路において、前記出口流路が延びる方向の側とは反対側に位置しており、前記入口流路から前記曲り流路に向かって流れる流体を前記出口流路側へと導くガイド部（30）と、

を備える開閉弁（10）。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の第 1 観点に係る開閉弁は、曲り部と、入口部と、出口部と、弁体と、ガイド部と、を備える。曲り部は、曲り流路を形成する。入口部は、入口流路を形成する。入口流路は、曲り流路から X 方向に延びている。出口部は、出口流路を形成する。出口流路は、曲り流路から Y 方向に延びている。Y 方向は、X 方向に交差する方向である。弁体は、開状態と、閉状態とに切り替わる。開状態とは、弁体の先端が曲り部とともに曲り流路を形

成することで、入口流路から曲り流路を介して出口流路へと至る流体の流れが許可される状態である。閉状態とは、弁体がY方向に移動することで、前記流体の流れが遮断される状態である。ガイド部は、入口流路において、出口流路が延びる方向の側とは反対側、すなわち逆Y方向側に位置している。そして、ガイド部は、入口流路から曲り流路に向かって流れる流体を、出口流路側へと導く。